



## 令和2年度 地方公共団体職員等研修を開催します

農林水産消費安全技術センター（ファミックFAMIC）では、農林水産省所管の独立行政法人として、地方公共団体の関係行政部局（主として消費者行政担当部局）の職員・相談員等を対象に、農林水産省における消費者行政、食品等の一般知識、商品テストに係る検査分析技術等に関する研修会を開催しております。

FAMIC仙台センターでは、東北管内の地方公共団体の上記職員の方々を対象に、今年度は別紙開催要領のとおり、10月28日（水）に開催します。

受講申込書は、各県消費者行政担当部局及び各消費生活センター等にお送りしていますので、受講希望の方は10月14日（水）までに郵送又はFAX等でお申込み下さい。（定員12名、先着順）

なお、会場の都合上、同一団体から申込み多数の場合は、調整させて頂く場合がありますので予めご了承下さい。



### ○ 担当者連絡先

独立行政法人農林水産消費安全技術センター  
仙台センター 業務管理課 澁谷  
次長 小熊

所在地：〒983-0842 仙台市宮城野区五輪 1-3-15  
仙台第3合同庁舎

電話：050-3797-1889 Fax：022-293-3933

e-mail：famic-sendai-daihyo1888@famic.go.jp

## 開 催 要 領

- 1 名 称 令和2年度 地方公共団体職員等研修
- 2 目 的 地方公共団体の消費者担当部局及び消費生活センターの職員等を対象とし、消費者に対する食品等に関する情報提供業務等の適切な実施を支援すること。
- 3 実施年月日 令和2年10月28日（水）
- 4 実施場所 農林水産消費安全技術センター仙台センター  
〔仙台市宮城野区五輪1-3-15仙台第3合同庁舎〕  
〔第2共用会議室（8階）〕
- 5 対象者 地方公共団体の消費者担当部局及び消費生活センターの職員等
- 6 定 員 12名程度
- 7 講習等の内容 下表のとおり

月 日	時 間	研 修 内 容	講 師 等
10月28日 （水）	10:00～10:20	受付	
	10:25～10:30	開講あいさつ オリエンテーション	仙台センター所長 業務管理課職員
	10:30～12:00 （90分）	〔講義1〕 未来の食を考える～培養肉、昆虫食、3Dフードプリンタ～	宮城大学食産業学群 分子調理学分野 教授 石川 伸一
	12:00～13:05	昼休み	
	13:05～13:50 （45分）	〔講義2〕 あるフードバンクの活動状況と課題	<sup>あがいん</sup> ふうどばんく東北 AGAIN 理事 白木 福次郎
	13:55～14:25 （30分）	〔講義3〕 JAS 制度について	規格検査課職員
	14:30～16:00 （90分）	〔実技〕 ソーセージ、ハム類の商品知識と でんぷんのテスト、官能検査	規格検査課職員
	16:00	閉講あいさつ （解散）	仙台センター次長

（敬称略）

# 令和2年度 地方公共団体職員等研修

## 研修内容のあらまし

農林水産消費安全技術センター<sup>ファミック</sup>（FAMIC）では、例年、地方公共団体の消費者行政担当部局、消費生活センターの職員等を対象に、消費者に対する食品等に関する情報提供業務等の適切な実施を支援するための研修を行っています。

本年度、FAMIC 仙台センターでは、JAS制度や近年、話題となっている培養肉、植物肉、昆虫食等の未来の食を題材に、下記4講座の研修を計画しました。

参加される皆様にとって、消費者相談対応にかかる知識を深める一助になれば幸いです。

### 1. 未来の食を考える～培養肉、昆虫食、3Dフードプリンタ～

世界的な食料不足や、牧畜や養鶏に膨大な飼料やエネルギーがかかるため、環境保護の観点から従前の畜産の見直しが必要という声が強まっていることなどを背景に、近年、培養肉、昆虫食、藻やミドリムシ食といった新たなたんぱく質供給源が着目されています。

特に、培養肉については、再生医療のための細胞培養技術の向上を背景に、多くの世界的食品企業が参入し、開発にしのぎを削っています。

日本においては、本年4月～7月、農林水産省が、食品企業、ベンチャー企業、関係省庁、研究機関等の関係者で構成する「フードテック研究会」を設置し、6回の会議を開催したところです。

本講では、食に関する最先端技術（フードテック）に詳しい宮城大学の石川伸一教授から、フードテックの現状や課題についてお話して頂きます。

### 2. あるフードバンクの活動状況と課題

フードバンクとは、安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で、流通に出すことができない食品を企業などから寄贈して貰い、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動です。近年、食品ロス問題や貧困問題を背景にこの活動が注目されているところです。

また、昨今、新型コロナウイルス禍による収入減少問題が喫緊の社会問題となっており、フードバンクは生活困窮世帯の食の問題に即応するセーフティネットの役割を果たしています。なかでも、地域の中で孤立しがちな、シングルマザーや子供、高齢者などの、状況の見えにくい困窮世帯を支援するには、行政との連携が必要不可欠です。

本講では、東北地区において長くこの活動に携わってこられた、ふうどばんく東北 AGAIN 理事の白木様から、現在の活動状況や課題についてお話して頂きます。

### 3. JAS 制度について

現在、JAS 規格においては、品位、成分、性能等の品質についての JAS 規格（一般 JAS 規格）のほか、有機 JAS マーク、特色 JAS マーク、試験方法 JAS があります。これら JAS 制度の基本や、本年7月16日から有機の畜産食品には JAS マークが必要となったことなど制度の最新状況について、当センターの担当者から説明します。

### 4. ソーセージ、ハム類の商品知識とでんぷんのテスト、官能検査

ソーセージ、ハム類の JAS 規格や商品知識について説明するほか、でんぷんのテストや植物由来のたんぱく質を原料とした肉（人造肉）などの官能検査を行います。

以上

令和 年 月 日

独立行政法人農林水産消費安全技術センター仙台センター所長 宛

受講申込み機関名称

代表者役職及び氏名

## 令和2年度地方公共団体職員等研修受講申込書

標記の研修について、下記職員の受講を申込みます。

記

フリガナ 氏名		性別	男 女
所在地	〒	電話	
所属及び職名 <sup>※1</sup>		実務経験年数	年
主な実務内容	①相談業務 ②商品テスト ③その他 ( )		
その他 (意見、要望、連絡等) <sup>※2</sup>			
連絡先	氏名		
	所在地	〒	
	電話、Fax、e-mail <sup>※3</sup>		

※1 別添の「新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する留意事項」をご確認ください。  
(確認しましたら、チェックをお願いします。→□)

※2 担当職員の常勤、非常勤は問いません。

※3 全講義受講できない方は、「その他」の欄に受講しない講義等を記載して下さい。

※4 研修生の決定通知は、電子メールにより行いますので、必ず e-mailアドレスの記載をお願いします。(公表されている代表アドレスがあれば、そちらを記載願います)

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する留意事項

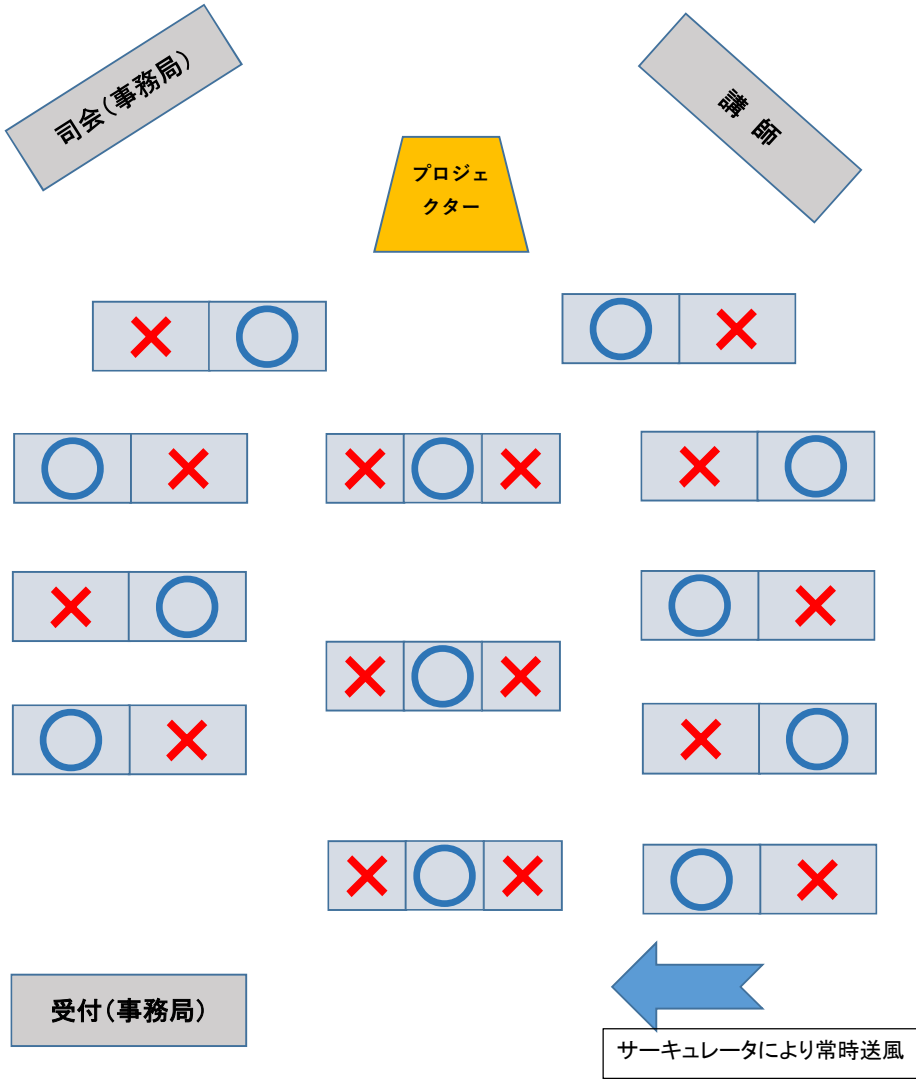
1. ご出席に際しては、開催当日の朝に検温及び健康チェックを各自実施して頂き、37.5度以上の発熱又は咳、咽頭痛の症状がある場合はご参加をお控えください。  
また、開催日前一週間程度の間にて体調不良等の症状があった場合も同様をお願いいたします。
2. マスク着用（当センターでのマスクの用意はございません。）、咳エチケット、会場入退出時の手指消毒をお願いいたします。
3. 研修会場は、別紙「座席表（案）」の配置を予定しています。申込の参考にしてください。申込者が定員12名に達しない場合、更に、座席間の距離を離します。  
また、適宜換気を実施しますので、室温に対応した服装でのご来場をお願いします。
4. 研修会終了後、職員又は出席者から新型コロナウイルス感染者が発生した場合には、速やかにその他の出席者に連絡を取りますので、受講申込書のメールアドレスの記載をお願いします。
5. 開催を中止する場合には、受講申込書の連絡先にお電話又はメールアドレスにてご連絡いたします。  
また、併せてFAMICウェブサイトにも掲載いたしますので、ご確認ください。

# 地方公共団体職員等研修 座席表(案)

スクリーン

ドアは半分開ける

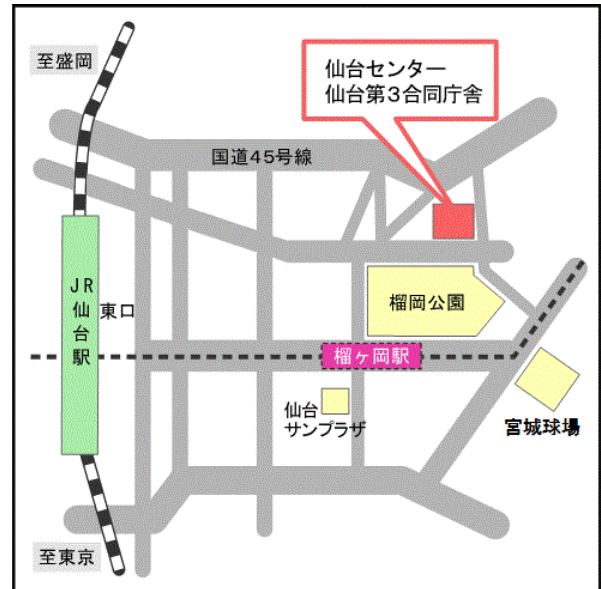
窓は開ける(荒天時除く)



ドアは半分開ける



# 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 仙台センター 案内図



## ◇所在地◇

〒983-0842

- ・ 仙台市宮城野区五輪 1-3-15 仙台第3合同庁舎
- ・ Tel : 050-3797-1889 ( I P 電話、業務管理課直通) Fax : 022-293-3933

## ◇交通◇

- ・ JR 「仙台駅」下車徒歩 25 分
- ・ JR 仙石線「榴ヶ岡駅」下車徒歩 10 分
- ・ 駐車場は、非常に限られた台数しか利用できませんので、出来る限り公共交通機関をご利用ください。